

こっこめ通信 11 2008

「毎年のことですが」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年は10月になっても台風は来ませんでした。降水量も平年以下、そして風も東寄りの日が多くなっています。いつもならば渡ってくる鳥たちが少ないのは、北寄りの風ではなく東寄りの風のためかもしれませんね。

そして山の上から、イズノシマダイモンジソウやハチジョウアキノキリンソウ、センブリなど、晩秋の花々の便りが届き始めています。11月になると島の気温も下がり、冬の足音も聞こえてきます。

さて今回は、「今年の顔ぶれ」「八丈富士裾野ハイキング」についてのお話です。

今年の顔ぶれ

ここで紹介している鳥たちは、本州などでは普通に見られ、別に驚くような鳥ではないかもしれませんが、しかし八丈島まで来るには、長い距離を飛び続け、海を渡ってこなければなりません。毎年必ず見られる種でも年によって渡ってくる数が違います。常連さんの鳥たちでも渡ってきた鳥を見るたびに「また来てくれた」と感じ、ここで紹介をしています。また、離れた島だからこそ、こんな鳥が渡ってきていると知ってほしいのです。

今年は少し渡りが遅いようですが、いろいろな鳥が島に立ち寄っています。秋には珍しいアジサシの仲間の姿も見られました。まだまだ数が少ないですが、これから冬が近づくとさらに顔ぶれが増えてくることでしょう。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈富士裾野ハイキング

毎年10月は「全国・自然歩道を歩こう月間」。期間中は全国各地でいろいろなイベントが開催されています。それに合わせ、八丈ビジターセンターでは「八丈富士裾野ハイキング」を開催しました。



シマクサギの花の蜜はとっても甘い！見るだけではなく五感を使って遊びます。



ナンバンギセル



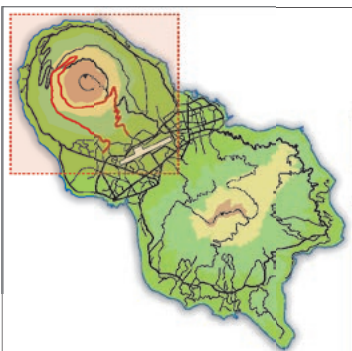
途中、富士山永郷線からはダイビングポイントで有名なナズマドが一望できました。



シュスラン

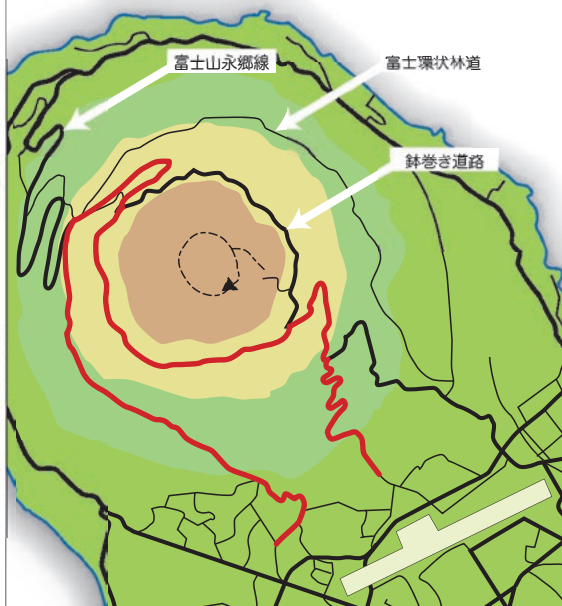


雄株と雌株のあるハチジョウイタドリ。よく花を見ると違いが分かります。



当初は、全長10kmの富士環状林道を歩く予定でしたが、一部通行ができない場所がありルートを変更して開催しました。

今回のルートは富士環状林道から新しく開通した富士山永郷線を通り、鉢巻き道路へ、下りは測候所まで下ってきました。



当日の天候は曇時々晴れ、しかし標高が高い場所では雲の中、少し雨が落ちることもありました。

ハイキングの途中、所々で八丈の秋を感じる植物に出会いました。ナンバンギセルやシュスランの花は盛りを過ぎていましたが、まだまだ美しさを失ってはいませんでした。八丈富士側でしか見られないコシオガマが咲き始め、サクノキには真っ赤な実がたくさん実っていました。

今回は距離が長くなってしまいましたが、参加者は疲れを見せずみなさん元気に踏破しました。

今回のハイキング中に島では珍しい植物を見つけましたので紹介します。

3種ともに道路整備が行われた場所で見つかったので、最近島に入ってきたものと思われます。



「ラセンソウ」

シナノキ科ラセンソウ属の一年草。夏の終わりから秋にかけて黄色い花が咲きます。果実には鉤状の棘があり、一見イガオナモミのように見えます。

関東以西の路傍で見られます。



「キンギンナスビ」

ナス科ナス属の多年草。茎にも葉にも花柄にも鋭い棘があります。花は白く、深く5裂します。実は初め薄緑で縦に濃緑の斑紋があり、その後赤く色づきます。

熱帯アメリカ原産の帰化植物。



「ホシアサガオ」

ヒルガオ科サツマイモ属の一年草。つる性の植物で葉は互生。秋にピンク色で中心が赤紫色の花が咲きます。花は上から見ると星の形に見えます。

南アメリカ原産の帰化植物。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10 月 13 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 20 年第 9 回) 参加者・沖山、VC 菊池、木村

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			39	セイタカアワダチソウ	花	5	スダジイ	落ちたどんぐり
1	アオツツラフジ	花と実	40	セイヨウタンポポ	花	6	トベラ	色づいた実
2	アオノクマタケラン	実	41	センニンソウ	若い実	7	ハゼノキ	熟した実
3	アキノノゲシ	花	42	タチスズメノヒエ	実	8	ヒサカキ	実と蕾
4	アシタバ	実、花も	43	タチチチコグサ	実	9	ヒメユズリハ	熟した実
5	アシボソ	花と実	44	チカラシバ	花と実	10	ホルトノキ	実
6	アメリカイヌホオズキ	花と実	45	チチコグサ	実	11	モチノキ	熟した実
7	アメリカスズメノヒエ	花と実	46	チヂミザサ	花	12	ヤブツバキ	種子が落ちる
8	イガガヤツリ	実	47	チャガヤツリ	実	13	ヤブニッケイ	実が残る
9	イヌクグ	実	48	ツククサ	花	シダ植物		
10	イヌタデ	花	49	トキワハゼ	花			
11	イワニガナ	花	50	ナキリスゲ	実	1	オオタニワタリ	
12	ウスベニニガナ	花	51	ネズミノオ	実	2	ヒトツバ	
13	ウリクサ	花、盛り	52	ノコンギク	花、咲き始め	3	タマシダ	
14	エダウチチヂミザサ	花	53	ハイメドハギ	実	4	カニクサ	
15	オオバコ	実	54	ハチジョウアザミ	花と実	5	ホシダ	
16	オオハマグルマ	花と実	55	ハチジョウイタドリ	花と実	6	ノキシノブ	
17	オニタビラコ	花と実	56	ハチジョウシュスラン	花	7	ナチシケシダ	
18	オヒシバ	実	57	ヒナギキョウ	花と実	8	ハチジョウカナワラビ	
19	カタバミ	花と実	58	ヒナタイノコヅチ	実	9	マツバラン	
20	カヤツリグサ	実	59	ヒメクグ	実	10	オニヤブソテツ	
21	カラムシ	実	60	ヒメジソ	花と実	11	コハシゴシダ	
22	カリマタガヤ	花と実	61	ヒメムカシヨモギ	花	12	タチシノブ	
23	キツネノマゴ	花	62	ヒメヨツバムグラ	花と実	13	マメヅタ	
24	キランソウ	花	63	ヘクソカズラ	実	14	イシカグマ	
25	キンエノコロ	実	64	ベニバナボロギク	花	15	イノモトソウ	
26	キンゴジカ	花と実	65	ホソバツルメヒシバ	実	16	ハチジョウシダ	
27	クグガヤツリ	実	66	メヒシバ	実	17	アスカイノデ	
28	クグテンツキ	実	67	メリカンカルカヤ	花と実	18	ハチジョウベニシダ	
29	コゴメガヤツリ	実	68	ヤクシソウ	蕾	19	ヤマイトシダ	
30	コセンダングサ	花と実	69	ヤハズソウ	実	20	タチクラマゴケ	
31	コニシキソウ	花と実	70	ヤマイ	実	21	ハカタシダ	
32	コミカンソウ	実	71	ヨモギ	花	今回はシダ植物 21 種を含め、105 種の植物を観察しました。秋の雑草が出揃って賑やかになりましたが、帰化植物がどんどん増えているのが少し気になります。		
33	ザクロソウ	実						
34	シマササバラ	実	木本					
35	シマスズメノヒエ	花と実	1	イヌビワ	実			
36	シマナガバヤブマオ	実	2	オオムラサキシキブ	実			
37	ススキ	実	3	ガクアジサイ	実			
38	スズメノトウガラシ	花と実	4	シマクサギ	花と実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、園内でも見られる「ハチジョウシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウシダ *Pteris fauriei*

ハチジョウシダの名前は八丈島に由来しますが、本州・四国・九州の南部、沖縄などに分布しています。

胞子嚢が葉の縁に付くことや最下羽片の下向き第一小羽片が極端に大きくなるのが特徴です。

【富士箱根伊豆国立公園指定植物】

2008 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 07:11 12:15 17:28			 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク 07:17 00:14 17:44 12:23
2 ガイドウォーク 07:55 00:45 18:10 12:51	3 ガイドウォーク 08:36 01:19 18:37 13:21	4 09:25 01:58 19:06 13:59	5 10:31 02:44 19:45 15:04	 6 11:51 03:45 21:06 17:16	立冬 7 12:57 05:05 23:48 19:09	8 ガイドウォーク 13:40 06:30 19:59
9 ガイドウォーク 秋の特別行事 「シダ植物観察会 ・北限のヘゴを訪ねて」 01:36 07:39 14:14 20:36	10 02:44 08:35 14:43 21:11	11 03:40 09:22 15:12 21:46	12 04:31 10:04 15:41 22:24	 13 05:21 10:44 16:11 23:03	14 06:11 11:23 16:44 23:45	15 ガイドウォーク 07:01 12:01 17:19
16 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 07:52 10:29 17:57 12:41	17 08:46 00:16 18:40 13:25	18 09:41 02:07 19:29 14:21	19 10:40 03:02 20:37 15:44	 20 11:39 04:04 22:31 17:41	21 12:31 05:14 19:12	22 小雪 ガイドウォーク 八文学講座 「流人・仙次郎の仕事①」 00:43 06:29 13:14 20:06
23 ガイドウォーク 02:18 07:38 13:51 20:45	24 ガイドウォーク 03:22 08:35 14:23 21:19	25 04:11 09:22 14:55 21:50	26 04:52 10:03 15:25 22:21	27 05:29 10:40 15:56 22:53	28 06:04 11:13 16:26 23:25	29 ガイドウォーク 06:38 11:44 16:57 23:57

イベントプログラム

東京都文化財ウィーク特別行事
「シダ植物観察会・北限のヘゴを訪ねて」
天然記念物でもあるヘゴなどのシダ植物観察会。シダ植物の専門家 中池 敏之さんを講師にお招きして開催いたします。
11/9 (9:30～ 約6時間) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険・交通費） 定員：20名

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/16 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「流人・仙次郎の仕事」

毎月行っている八文学講座。今月は、石工の名人・仙次郎の残した石碑を見て回ります。
11/22 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2008.11.1 第90号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

冬が近づくとカモ類や猛禽類などいろいろな鳥が渡ってきます。今年はどんな鳥が渡ってきてくれるのでしょうか？ ホームページやこっこめ通信でたくさん紹介できるといいんですが。そして渡ってきた鳥たちが元気に旅立ってくれることを願います。（高）